

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ウルヴァリン・ミュータント	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.540	△RG 0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ウルヴァリン・ミュータント

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：ウルヴァリン

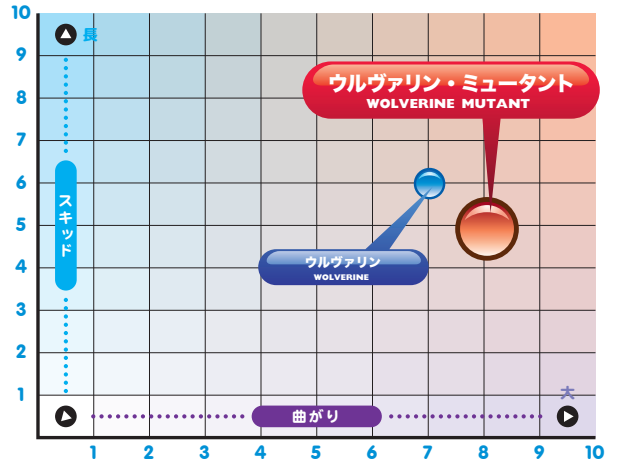
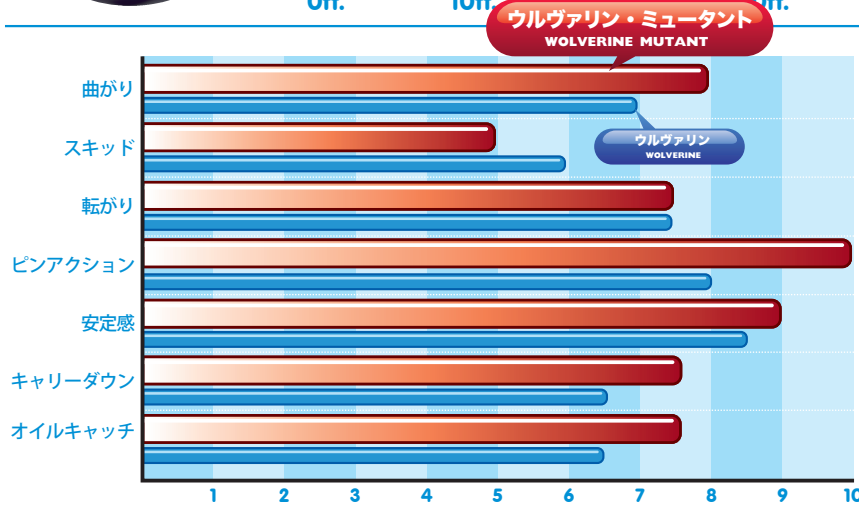
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- パフ



レールコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

S70パールカバーストックを搭載したWOLVERINEは、中盤から後半にかけて盤石のリレーを可能にするために必要不可欠なスペックとして作り上げられました。発売以降、多くの競技ボウラーが無駄なリアクションを避け、コントロールしやすいボールとしてWOLVERINEを使用していることが見受けられ、曲がりが多く出るボールが世の中に溢れる傾向でも、実用性の高いボールはいつの時代も好まれるということが見取れました。今回発売されるWOLVERINE MUTANTはWOLVERINEのS70パールカバーストックから900Globalで最もポピュラーなS74パールカバーストックに変更して、扱いやすい曲がりをもつWOLVERINEより上の領域で使える仕様にしたスペックです。

MUTANTをテストして第一印象で感じたことは、他のS74カバーのボールのGEARやハニーバジャーと比べるとダイレクトにコントロールしやすく、扱いやすいということです。「収まる」という表現が的確かもしれません。リアクションが出るボールも曲がりが出て欲しい場面と出て欲しくない双方の場面があり、思う以上にボールが曲がるうとラインが描きづらくなりますが、そういう時にもMUTANTは扱いやすく、ラインを描きやすくさせてくれます。曲がらない訳でもなく、急激な曲がりの変化を感じさせないので、余分にラインを太くせず最小限の幅で投球することができます。初代WOLVERINEはカバーがS70パールカバーストックなので遅めのコンディションに特化したコンセプトでしたが、MUTANTは900Globalの軸となるS74カバーストックなのでミディアムヘビーからミディアムまで幅広くカバーします。ラインアジャストで扱いやすく、コントロール性を重要視する方はWOLVERINE MUTANTは絶好のパフォーマンスだと思えます。

特記事項

WOLVERINEの性能がミディアムから上の領域で使えるようになりました。初代WOLVERINEのコントロール性能を気に入っている方に、ジャストにハマるボールです。